



青柳園だより

2023年
9月号
文京区立青柳幼稚園

集うことの喜び

園長 和島 千佳子

今年の夏はとても暑く、園の預かり保育「にこにこ」は木陰やテントを活用しながら過ごしました。園庭開放の「水遊び DAY」には在園児に加えて地域の小さな方も遊びに来て、和やかで賑やかな時間を過ごしました。感染症の流行もやや落ち着き、各地で祭りが復活した夏でもあります。

私は今年、以前から行ってみたかった、ある集落の盆踊りに参加する機会に恵まれました。輪になり、生の声で歌う節と太鼓に合わせての踊りです。私も見よう見まねで動きながら、掛け声（合いの手）や手拍子で輪に加わります。お盆という時期もあるのでしょうか、夜風の涼しさを肌で感じながら、今ここにいる不思議さや有難さを思うひとときでした。

夏の甲子園では、関東の高校の応援団が乗る新幹線が台風の影響で大幅に遅れ、球場に到着できないというハプニングがありました。楽器演奏もない中、7人の野球部員で応援のリードをすることになり、考えたのが「コール」での応援です。「もりあがりがない」の掛け声と手拍子の応援は、ほどなく自チームの応援スタンドに広がり、やがてじわじわと観客席を覆うように広がっていきました。チームは惜しくも試合に負けてしまいましたが、応援は選手に届いていたでしょう。そして、その場にいた人にとって、忘れられない出来事となったことでしょう。

そこに集うこと、そしてその場に居合わせた人々でともにつくり出す出来事。そこで生まれるエネルギーや喜び、エンパワーメント。2学期からの青柳幼稚園にも、そのような場がつくり出されます。観劇会やふれあい会、運動会などの行事の醍醐味のひとつともいえるでしょう。

いよいよ9月、それぞれの夏を過ごし、またみんなが園に集います。園が、子どもたちが健やかに成長する場、保護者の皆さまにとっても楽しい場であるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。残暑の厳しい折、体調に気を付けながら、どうぞよろしく願いいたします。



<園庭の夏野菜の花>



<工事でミキサー車が来たよ！>